



2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年12月8日

上場会社名 株式会社ストリーム 上場取引所 東
 コード番号 3071 URL https://www.stream-jp.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齊藤 勝久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)齊 向東 (TEL)03(6823)1125
 四半期報告書提出予定日 2021年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の連結業績(2021年2月1日~2021年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	20,807	2.4	335	△29.5	321	△29.9	269	△27.5
2021年1月期第3四半期	20,314	18.6	475	484.2	458	554.8	372	—

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 265百万円(△27.0%) 2021年1月期第3四半期 364百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2022年1月期第3四半期	9	89	—	—
2021年1月期第3四半期	13	65	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年1月期第3四半期	6,439	2,633	39.9%
2021年1月期	6,072	2,367	37.9%

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 2,569百万円 2021年1月期 2,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年1月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2022年1月期	—	0 00	—	—	—
2022年1月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日~2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,240	0.6	634	△4.1	609	△4.8	499	△12.6	18 29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	28,525,000株	2021年1月期	28,525,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	1,236,500株	2021年1月期	1,236,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	27,288,500株	2021年1月期3Q	27,288,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 2022年1月期 第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年2月～2021年10月)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令等から、経済活動の制限や個人消費の低迷が続いておりましたが、ワクチン接種の広がりとともに経済活動再開への期待が高まる一方、その収束時期は未だ見通せず、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、海外においても、欧米ははじめワクチン接種に伴う経済活動再開等により景気が持ち直していくことが期待されたものの、本感染症の動向や世界的な半導体供給不足等により景気下振れリスクの高まりもあり、経済環境は厳しい状況が続いております。

当社グループは、お客様のライフスタイル作りのサポートとして「より良い商品」「より良い価格」「より良いサービス」をモットーに、新しい価値観の提案・提供を通して社会の発展に貢献することを経営の基本方針に、既存概念にとらわれることなくチャレンジを続け、インターネット通販事業を中心に事業活動を行っております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①インターネット通販事業

当第3四半期連結累計期間(2021年2月～2021年10月)における国内の家電小売業界は、前期における特別定額給付金の支給効果が一巡し、パソコン等の情報家電に加えて天候不順によりエアコン等の季節家電、大画面テレビ等の映像家電が伸び悩みました。

このような状況の中、当社が出店する「楽天市場」「Yahoo!ショッピング」「Amazonマーケットプレイス」等の外部サイトの売上高は、巣ごもり需要が落ち着いたものの、ポイント等の効果的な販促施策の展開により、洗濯機や冷蔵庫等が好調に推移いたしました。また、パソコン周辺機器である無線LANルーター、HDDやスマートフォン等について前年同四半期比で伸長しており、今後も売れ筋商品の在庫施策等により更なる売上高確保に努めてまいります。

WEB接客ツールのチャット機能を導入している「ecカレント」オリジナルサイト、「楽天市場」及び「Yahoo!ショッピング」の外部サイトにおける大型家電の配送設置サービスは、きめ細やかな接客を通してそれぞれのユーザーに合った提案を行うよう努めております。その結果、洗濯機、冷蔵庫等を中心に売上高は、引き続き好調に推移しております。

当社は、リネットジャパンリサイクル株式会社と提携し、小型家電リサイクル法に基づく使用済小型家電の宅配便リサイクルサービス「リタクル」を8月より開始しました。本サービスの提供を通じ、今後も小型家電リサイクル法を推進し、資源のリサイクルを通じてSDGs(持続可能な開発目標)が目指す循環型社会の構築に貢献してまいります。

また、「ecカレント」オリジナルサイトにおいて、新たな決済方法としてKDDI株式会社が展開しているスマホ決済サービス「auPAY」を9月に導入しました。今回、「auPAY」を導入することにより、au IDをお持ちのお客様が、簡単にお買物の決済ができるようになり、同サイトへの集客効果に繋げております。

各カテゴリにおける前年同四半期比では家電3.2%減、パソコン7.5%減、周辺機器・デジタルカメラ32.1%増となりました。

売上高は前年同四半期比微増となりましたが、利益面に関しましては、2021年5月以降、外部サイトのポイント等の販促施策強化に伴う広告宣伝費の増加や競合他社との厳しい価格競争に伴う粗利益の低下により減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,728百万円(前年同四半期比3.8%増)、営業利益569百万円(前年同四半期比21.2%減)となりました。

インターネット通販事業の売上・受注件数等の推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	受注件数(千件)	棚卸資産回転率 (回転/年換算)
当第3四半期連結累計期間	19,728	569	1,050	12.8
前第3四半期連結累計期間	19,014	722	1,066	11.5

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

(百万円)

	家電	パソコン	周辺/デジカメ	その他	合計
当第3四半期連結累計期間	10,875	2,251	5,791	811	19,728
前第3四半期連結累計期間	11,231	2,434	4,382	966	19,014

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

②ビューティー&ヘルスケア事業

株式会社エクスワンにおいて展開される、ビューティー&ヘルスケア事業においては、新商品として、2021年6月に、ヒト幹細胞培養液配合「XLUXES(エクスリユクス)」シリーズより、年齢による髪の悩みをケアし豊かな艶髪を実現する、洗い流さないヘアトリートメント「エクスリユクス モイスチャーヘアウォーター」を発売し、発売以降売上高は堅調に推移いたしました。

会員ビジネスにおいては、新型コロナウイルス感染症対策に伴いWEB会議アプリケーションによる動画(ライブ含む)配信を活用したオンラインセミナーや、インスタライブを開催する等SNSの活用を積極的に展開し、会員とのきめ細やかなコミュニケーションを行ったこともあり、売上高は堅調に推移いたしました。

2021年6月には、SNSを駆使して商品やキャンペーン等の情報発信を行い、ブランディングを推進するべく直営店舗である「サロン・ドゥ・インナップ青山」内にスタジオを開設しました。また、2021年10月には、新商品「エクスリユクス モイスチャーヘアウォーター」やサロン内施設の紹介を行うインスタのライブコマースイベントを開催し、おかげさまでたくさんの視聴者の方に本商品を購入頂きました。他方、海外に向けては9月、10月と2回にわたり中国SNSのキー・オピニオン・リーダーをスタジオに迎え、約2万人超の中国の視聴者向けに「XLUXES(エクスリユクス)」シリーズの商品についてウィーチャット及びウェイボーでのライブコマースイベントを開催しました。その結果、視聴頂いた方々に同シリーズ商品を購入頂きました。

売上高に関しましては、会員向けビジネスは概ね計画通り推移いたしました。卸販売においては、新型コロナウイルス感染症の影響により免税店では海外からのお客様が実質ゼロとなる状況であり、依然として店舗販売は厳しい環境が継続し、全体として前年同四半期を下回りました。利益面に関しましては、昨年より継続して取り組んでいる構造改革やコスト削減の実施により、徐々に改善が進んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は678百万円(前年同四半期比18.3%減)、営業損失53百万円(前年同四半期は96百万円の営業損失)となりました。

ビューティー&ヘルスケア事業の売上推移

(百万円)

	パーソナルケア	ヘルスケア	その他	合計
当第3四半期連結累計期間	397	225	56	678
前第3四半期連結累計期間	492	276	62	830

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

③その他事業（「各種販売支援事業」、「3PL事業」）

「各種販売支援事業」においては、国内免税店1店舗において訪日観光客向け販売や株式会社エックスワン商品の会員向け販売のシステム・物流支援等を行っております。国内免税店における販売支援店舗が減少したため、売上高は低調に推移いたしました。

「3PL事業」においては、当社が運営する「ecカレント」をはじめインターネット通販サイト運営で培ってきたノウハウを基に、販売から物流までワンストップで管理する質の高いシステムをインターネット通販事業者の皆さまに対して提供してきた実績を活かし、物流倉庫・受注管理・出荷の包括的な物流支援サービスである本事業の更なる強化を図っております。PCや家電以外に自転車等の案件によりビジネスは堅調に推移しております。

また、当社コーポレートサイトに3PL事業紹介サイト(<https://www.stream-jp.com/business/3pl/>)の開設や、継続的に新聞やインターネット（おもに検索連動型）での同事業の広告展開及び取材対応に伴うメディアへの露出に努めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は454百万円（前年同四半期比15.5%減）、営業利益51百万円（前年同四半期比14.1%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,807百万円（前年同四半期比2.4%増）、営業利益335百万円（前年同四半期比29.5%減）、経常利益321百万円（前年同四半期比29.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は269百万円（前年同四半期比27.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ366百万円増加し、6,439百万円となりました。これは主に、現金及び預金190百万円増加、商品250百万円増加、ソフトウェア45百万円増加、受取手形及び売掛金165百万円減少によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ100百万円増加し、3,806百万円となりました。これは主に、買掛金606百万円増加、短期借入金58百万円減少、未払金251百万円減少、未払法人税等137百万円減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ265百万円増加し、2,633百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益269百万円の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ190百万円増加し、1,584百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、453百万円（前年同四半期は876百万円増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益314百万円、非資金項目である減価償却費117百万円、売上債権の減少額165百万円、仕入債務の増加額606百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額255百万円、未払金の減少額等による「その他」の減少額320百万円、法人税等の支払額182百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、168百万円（前年同四半期は107百万円使用）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出27百万円、無形固定資産の取得による支出143百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、94百万円（前年同四半期は328百万円増加）となりました。支出の主な内訳は、短期借入金の純減額58百万円、長期借入金の返済による支出33百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期の業績予想に関しましては、2021年3月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394,259	1,584,691
受取手形及び売掛金	1,319,819	1,154,263
商品	2,316,413	2,567,393
その他	111,572	141,599
流動資産合計	5,142,065	5,447,948
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	111,372	126,132
車両運搬具(純額)	5,046	4,046
工具、器具及び備品(純額)	34,140	39,609
土地	2,003	2,003
有形固定資産合計	152,562	171,792
無形固定資産		
ソフトウェア	300,918	346,646
その他	19,394	18,609
無形固定資産合計	320,313	365,255
投資その他の資産		
投資有価証券	2,504	1,185
出資金	270	270
差入保証金	370,912	367,802
その他	100,171	101,267
貸倒引当金	△15,876	△15,876
投資その他の資産合計	457,982	454,648
固定資産合計	930,859	991,696
資産合計	6,072,924	6,439,644

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,359,907	1,966,618
短期借入金	923,500	865,000
1年内返済予定の長期借入金	55,288	76,088
未払金	648,318	396,771
未払法人税等	137,062	-
賞与引当金	4,666	11,666
ポイント引当金	7,562	7,897
その他	134,349	143,317
流動負債合計	3,270,655	3,467,358
固定負債		
長期借入金	325,542	271,596
その他	109,603	67,656
固定負債合計	435,145	339,252
負債合計	3,705,801	3,806,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	924,429	924,429
資本剰余金	876,888	876,888
利益剰余金	650,974	920,940
自己株式	△152,609	△152,609
株主資本合計	2,299,683	2,569,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	22
その他の包括利益累計額合計	102	22
非支配株主持分	67,337	63,362
純資産合計	2,367,123	2,633,033
負債純資産合計	6,072,924	6,439,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年10月31日)
売上高	20,314,198	20,807,384
売上原価	15,976,563	16,207,775
売上総利益	4,337,635	4,599,608
販売費及び一般管理費	3,862,566	4,264,519
営業利益	475,068	335,088
営業外収益		
受取利息	16	22
受取配当金	13	2
受取手数料	1,443	849
為替差益	-	5,274
助成金収入	4,587	1,478
受取保険金	-	6,057
その他	1,209	722
営業外収益合計	7,270	14,407
営業外費用		
支払利息	21,422	19,600
支払手数料	950	7,908
為替差損	969	-
その他	250	251
営業外費用合計	23,592	27,761
経常利益	458,747	321,735
特別損失		
固定資産除売却損	4,570	1,550
投資有価証券評価損	1,977	1,238
本社移転費用	-	4,780
特別損失合計	6,548	7,568
税金等調整前四半期純利益	452,198	314,166
法人税等	87,762	48,175
四半期純利益	364,436	265,990
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,962	△3,974
親会社株主に帰属する四半期純利益	372,398	269,965

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	364,436	265,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	△80
その他の包括利益合計	△69	△80
四半期包括利益	364,366	265,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	372,329	269,884
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,962	△3,974

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	452,198	314,166
減価償却費	118,780	117,547
賞与引当金の増減額(△は減少)	△739	7,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△490	334
受取利息及び受取配当金	△30	△25
支払利息	21,422	19,600
為替差損益(△は益)	1,153	△247
固定資産除売却損益(△は益)	4,570	1,550
投資有価証券評価損益(△は益)	1,977	1,238
本社移転費用	-	4,780
売上債権の増減額(△は増加)	△36,816	165,555
たな卸資産の増減額(△は増加)	△79,817	△255,773
仕入債務の増減額(△は減少)	282,717	606,710
その他	159,961	△320,903
小計	924,888	661,533
利息及び配当金の受取額	30	25
利息の支払額	△21,126	△21,189
本社移転費用の支払額	-	△4,780
法人税等の支払額	△27,678	△182,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	876,112	453,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	3,000	-
有形固定資産の取得による支出	△19,894	△27,632
無形固定資産の取得による支出	△97,196	△143,837
子会社の清算による収入	6,744	-
差入保証金の差入による支出	△19	△6,371
差入保証金の回収による収入	-	9,729
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,366	△168,112
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△58,500
長期借入れによる収入	390,000	-
長期借入金の返済による支出	△57,308	△33,146
その他	△4,028	△3,265
財務活動によるキャッシュ・フロー	328,663	△94,911
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,147	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,096,262	190,431
現金及び現金同等物の期首残高	658,944	1,394,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,755,206	1,584,691

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	ビューティ&ヘルスケア事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,011,818	813,264	489,114	20,314,198	—	20,314,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,312	17,669	48,392	68,374	△68,374	—
計	19,014,130	830,934	537,506	20,382,572	△68,374	20,314,198
セグメント利益又は損失(△)	722,217	△96,482	59,651	685,385	△210,316	475,068

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△210,316千円は、セグメント間取引消去△1,902千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△208,413千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他事業は、各種販売支援事業及びオンライン・ゲーム事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	ビューティ&ヘルスケア事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,727,271	665,167	414,945	20,807,384	—	20,807,384
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,674	13,787	39,516	54,977	△54,977	—
計	19,728,946	678,954	454,461	20,862,362	△54,977	20,807,384
セグメント利益又は損失(△)	569,181	△53,345	51,231	567,067	△231,978	335,088

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△231,978千円は、セグメント間取引消去△1,406千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△230,572千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他事業は、各種販売支援事業及び3PL事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。